

□ トピック □ デング熱



ヒトスジシマカ

60年ぶりの日本国内感染の可能性があることで、ニュースでも取り上げられた「デング熱」をご存じでしょうか？昨年8月に日本から帰国したドイツ人が感染していたことから、厚生労働省はデング熱に関して注意を呼びかけています。デング熱は、ネッタイシマカ、ヒトスジシマカなどの蚊によって媒介される熱性疾患です。主な症状は高熱や発疹などで、重症化すると出血やショック症状が出て、適切な治療をしなければ死亡することもあります。特効薬はありませんが、早期の対処であれば、解熱剤による対症治療により97～99%

以上の方は回復します。主に熱帯・亜熱帯地方などで報告されていますが、日本でも輸入症例（海外で感染し、帰国後発症する）が年間200例ほど報告されています。

デング熱の対策として、パナマでは遺伝子組み換えされた蚊（GM蚊）を放つことで蚊の繁殖を抑える計画、シンガポールでは発生源となった水溜りを放置すると罰金が科せられるシステムを行っています。日本も今後デング熱が深刻な問題になる可能性は十分にあるので、これを機会に知識を深めていってはどうでしょうか？

□ お知らせ □ ヒトスジシマカを含む蚊類の対策

ヒトスジシマカの主な発生源は小さくて狭い水域です。このため、浄化槽、湧水槽、雨水枡、さらには屋外に放置されたままの状態でも雨水が溜まってしまったタイヤ、容器などが発生源となることがあります。この場合は、水域処理（幼虫に有効）、蒸散剤処理や空間噴霧処理（成虫に有効）、廃棄物の廃棄、清掃等の対策が必要です。

また、蚊類をはじめとする飛来侵入虫の侵入防止対策として、「タフガードネット」という防除ネットがお勧めです。これは熱帯地方のマラリア媒介蚊から身を守るための「蚊帳」用のネットとして開発・利用されていたものです。このネットには、防虫成分（ピレスロイド系）が含まれており、徐々にネット表面に浸みだすことから持続的な効果も期待できます。成分をネットに練りこんでおり、常温での揮発がほとんどないことから人や哺乳動物に対する問題もほとんどありません。また、樹脂の糸で編みあげているので、強度が強く、破れても伝線しにくい構造になっています。

蚊の対策は種類や発育ステージ（成虫、幼虫）によってその対処法が変わってきますので、お困りの方は気軽にご相談ください。



ヒトスジシマカの発生場所

□ 豆知識 □ 緑色の花を咲かせるサクラ

サクラといえば桜色という色があるように薄いピンク色とイメージされる方が多いのではないのでしょうか？しかし、珍しい色をしたサクラもなかにはあります。

珍しいサクラともいえる御衣黄（ギョイコウ）は緑色の花を咲かせます。この緑色は葉緑体によるものです。花が開いたときは緑色ですが、次第に緑色が薄れて黄緑色から黄色になります。やがて中心部が筋状に赤くなる珍しいサクラです。また、花弁の裏側には気孔が存在します。このことから、花は葉から進化したと考えられています。花の色が高貴な貴族の衣裳のイメージがあるため、御衣黄という名前がつけられました。

このようにサクラでも様々な色をしたものがあります。珍しいサクラを見るのも楽しいかもしれませんね。



ギョイコウ



総合衛生コンサルタント・生物害防除

東洋産業株式会社

URL: <http://www.to-yo-s.co.jp>

本社：岡山県岡山市北区新屋敷町3-19-20

TEL(086)241-8080 FAX(086)241-8094

拠点：大阪、姫路、岡山、倉敷、福山、広島、高松、松山
関東（市川）